

デイリーレポート

船長署名

船 名	大 島 丸	情報発信日時	2024 年 10 月 22 日 12 時 00 分
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分	概位 父島二見港西方 <Lat. 27 - 04.2 N+S Long. 142 - 09.8 E+W>
	停泊中	時 分	概位 <Lat. - N+S Long. - E+W>
	錨泊中	時 分	概位 <Lat. - N+S Long. - E+W>
	操業中	時 分	概位 <Lat. - N+S Long. - E+W>
	観測中	時 分	概位 <Lat. - N+S Long. - E+W>
本船状況 気象海象	針路:	適宜 度	船速: 適宜 kt 天候: bc
	風向:	ENE	風速: 5.5 m/s 視界: 7 哩
	波高:	0.9 m	風浪階級: 2 うねり階級: 1
乗船者 状況	乗組員	現在員: 19 名	健康状態: 良好 不良 摘要:
	生徒	現在員: 8 名	健康状態: 良好 不良 摘要:
	指導教官	現在員: 3 名	健康状態: 良好 不良 摘要:
	支援員	現在員: 1 名	健康状態: 良好 不良 摘要:
○本船動静 10月21日14時50分 教員及び生徒ダイビングボートにより帰船 10月22日10時00分 教員及び生徒通船にて上陸 海況の回復が見込まれるため、本日午後生徒帰船後、生物調査実習海域である鳥島に向け発航します。鳥島着予定は明日23日正午頃を見込んでいます。 ○避航・避難理由 Nil			
【学校側コメント】 昨日のダイビング実習は、先の産業系生徒と同じ水域で実施されました。ダイブ場所は、バラ沈と呼ばれる水域です。他のダイビンググループも多数いたようで、順番を待ってのダイブだったようです。30分ほどのダイブでしたが、大島では見られない熱帯性魚（ヒトスジギンポ）、サンゴの群生、タコ、そしてイルカの群れ。生徒は満足そうな顔つきで帰船しました。ヒトスジギンポという魚種は、帰船後、生徒が調べたものです。生物系生徒らしく、不明のものは調べる！探求心旺盛です。 本日は、午前中に底魚釣り実習の漁具作成等を行い、その後は通船を利用して上陸です。目的は、水産センターの見学、ミニ水族館の見学です。小さな水族館ですが、小笠原ならこそその魚種が見られると思います。生徒が立てた本日のミッションは、水産センターを知り尽くすこと。14時前には帰船しますが、どんな知識を得て来るのか、結果を楽しみにしています。帰船後、夕刻には北上の予定です。鳥島海域はまだ多少は時化していますが、明日になれば時化も幾ら収まって午後には底魚釣り実習も可能になる。ちなみに、ただ今の父島近海は、昨夜まであった大きなウネリも収まり、風もそれ程強くなく、航海には支障のない状態です。この状態なら船酔いをする者も少なく、明日からの底魚釣り実習には生徒全員が元気な状態で取り組めると考えています。果たしてどんな魚種が上ってくるのか、生物系生徒ならでの視点を持って釣り実習に取り組んで欲しいと思います。			